

青年海外協力隊に参加して良かったこと！

こんにちは。ウガンダで過ごす時間も残りわずかとなり帰国の準備を進めているところです。日本へ帰る実感がだんだん湧いてきました。最後のウガンダ通信は青年海外協力隊に参加して良かったこと、ウガンダにきて良かったことについて紹介します。

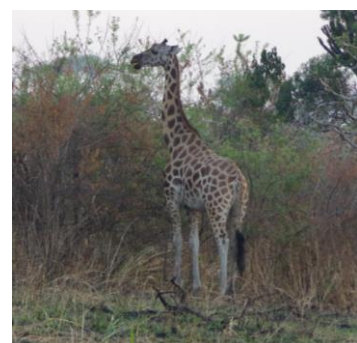
ウガンダという国について知れて好きになれたこと



青年海外協力隊に参加していなければおそらく「ウガンダ」という国があること自体知らなかったかもしれません。日本では「アフリカ」とひとくくりにされることがありますが、同じアフリカでも言葉も食べ物も全然違います。2年間ウガンダで生活してウガンダについて知れたこと、また好きになれたことは今後の人生においても本当に良かったです。水や電気がなかったり、食べ物が合わなかったり、言葉がわからなかったり、ウガンダ人に腹が立つこともたくさんありました。しかし、優しくしてくれる人も、任地を離れるとき寂しがってくれる人もたくさんいて、早く日本へ帰りたい気持ちとウガンダを離れたくない気持ちと半々です。

ウガンダは気候が1年中温暖でとても過ごしやすいですし、乾季にも雨が降るので緑豊かで本当良いところだと思います。ぎゅうぎゅう詰めな乗り合いタクシーに乗ることもマトケやポショといったウガンダごはんも良い思い出です。

いつかまた必ずウガンダに戻ってきたいと思います。



日本についてさらに知ることができた、良さを再確認できたこと



いままで当たり前のことで意識していなかった日本について改めて知ることができました。食べ物のことだったり宗教のことだったりウガンダ人に聞かれることが多々あります。特に宗教についてはほとんど意識していなかったの、考えるいいきっかけになりました。ウガンダでは県が違ってても食べ物はほとんど変わりませんが、日本は都道府県ごとに食べ物が違ったり名産があります。交通機関の時間が正確だったりサービスが良かったり、ウガンダにいると日本ってすごいなと感ずることがたくさんありました。日本から送ってもらった調味料やお菓子、レトルト食品などとてもありがたかったです。「食」は心も豊かにしてくれるのだと感じましたし、日本食がやっぱり大好きなのだ実感しました。

たくさんの仲間ができたこと



訓練所、ウガンダ隊の同期、ウガンダでの先輩、後輩隊員、任地が近かったウガンダ南西部の隊員達などたくさんの仲間ができました。とくにウガンダ隊の同期とウガンダ南西部が任地の「西会」のメンバーには2年間とても助けられました。みんなで旅行をしたり、料理を作った時間はかけがえの無いものになりました。日本でまたみんなに会いたいです。

あとがき

2年間ウガンダで楽しいこと、辛いことたくさんありましたが、青年海外協力隊に参加してウガンダで生活して本当良かったです。幸せな時間を過ごすことができました。ウガンダでの経験を活かせるよう、今後は日本で頑張っていきたいです。いままで本当にありがとうございました！

